

## 産業教育委員会

【委員長】井出晴美 【副委員長】吉川隆之

(当初予算2件、条例2件、その他1件、補正予算1件) 【委員】川窪吉男、下田良秀、遠藤盛正、伊東美加、佐藤菊乃、小池義治

### ●大手旅行会社から観光交流課に派遣される(仮称)観光推進アドバイザーの位置づけは

**問** 令和6年度から大手旅行会社の40代男性社員1名を、(仮称)観光推進アドバイザーとして交流観光課へ配置するとのことですが、常勤で週5日勤務するものの、派遣元の身分を有したまま出向するため、職員ではないとのこと。交流観光課内では、どのような位置づけで業務を行うのですか。

**答** 観光推進アドバイザーは、上司・部下の指揮命令系統には属さず、交流観光業務の目標達成のための実務を行います。アドバイザーの派遣元は旅行業関連のスペシャリストであり、海外にも多くの拠点を持っていることから、このネットワークとノウハウを生かし、本市の観光資源の戦略的な活用やインバウンド誘客など観光に関する様々な施策の推進が見込まれます。部を横断して、そのスキルを生かし、産業振興にも寄与してもらいたいと考えています。

### ●先端技術・プログラミング等体験事業、ものづくり人材創出育成事業の内容は

**問** ものづくりに携わる人材の創出と育成、流入を促進するため、今回新たに、先端技術・プログラミング等体験事業やものづくり人材創出・育成事業を計画しているとのことですが、どのような内容ですか。

**答** 先端技術・プログラミング等体験事業は、市内高校生を対象にバス1台を借り上げて、一般社団法人高度技術社会推進協議会が運営する東京都港区のTEPIA先端技術館を訪問し、様々な技術に触れる機会を提供するというものです。また、ものづくり人材創出・育成事業では、中高生の市内ものづくり企業等の研究室・現場訪問や理工系人材による職業講話などを予定しています。

### ●大淵笹場への展望エリアと観光カメラ設置の時期と費用対効果は

**問** 富士山と茶畑の絶景ポイントである大淵笹場において、季節や天候の影響により、富士山を見ることができない観光客に対し、合成フレーム技術を用いて晴天時の富士山が映った写真撮影を可能とするため、展望エリアと観光カメラを設置するとのことですが、完成予定はいつ頃になりますか。また、費用対効果をどのように見込んでいますか。

**答** 観光カメラは、設置するエリアやカメラの角度を決め展望エリアを設置し、富士山の写真を撮影した後、システムを作成するため、完成までは半年程度が必要だと考えています。また、画素数に応じて撮影料金を480円、580円、800円の3段階に設定する予定で、年間1000枚、50万円の売り上げがあれば維持管理費を賄うことができると考えています。大淵笹場は、半年で2万人の来訪者があることから費用対効果は高くなると見込んでいます。

### ●児童生徒に対する心の健康観察アプリの内容は

**問** 新年度から心の健康観察アプリを導入するとのことですが、どのような内容ですか。

**答** 心の健康観察アプリの導入については、昨年、文部科学省より示されたもので、一人一台端末等を活用して、児童生徒の心や体調の変化を把握し、メンタルヘルスの悪化や児童生徒が発するSOSの早期発見・早期支援につなげるものです。具体的には、子供たちが毎朝、1分から2分程度で体調や心の状態をアプリに入力し、その結果を担当の教師が把握し、必要に応じて面談などの早期対応につなげるものですが、子供の健康観察をアプリに頼ることへの懸念もあるため、まずは市内数校へ試験的に導入し、効果を見ていきたいと考えています。

**要望** いじめ対策や心のSOSへの対応として、効果的な取組だと感じますが、落ち込んだり憂鬱になったりすることは人として当然のことですので、心の健康に敏感になりすぎたり、過干渉になりすぎることのないよう留意してください。

## 建設消防委員会

【委員長】太田康彦 【副委員長】鈴木幸司

(当初予算6件、条例3件、その他3件) 【委員】望月昇、荻田丈仁、杉山諭、関明美、笹川朝子、小野泰正

### ●自転車通行ネットワーク計画の内容は

**問** 自転車車が安全に道路を通行できる環境の整備などを目的に、自転車通行ネットワーク計画を策定するとのことですが、対象となる道路の選定方法や整備内容はどのようなものですか。

**答** 現在の自転車の通行状況を踏まえ、日常利用と観光利用の観点から道路を選定します。また、自転車車が安全に通行できるよう、各道路の幅員等の現況に応じて自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示の設置等を検討していく計画です。

### ●富士川駅のバリアフリー化の具体的な計画は

**問** 令和4年度に改定した富士駅周辺地区バリアフリー構想において対象施設に位置づけられている、富士川駅のバリアフリー化を行っていくとのことですが、事業の具体的な計画はどのようなものですか。

**答** 富士川駅のバリアフリー化はJR東海が事業を実施し、本市はそれに対して補助金を交付するものです。新年度は詳細設計等の準備を進め、工事開始は令和7年度、完成は令和9年度を予定しており、エレベーターや多機能トイレ等が整備される計画です。あわせて、富士川駅前広場のバリアフリー化を本市が進め、駅周辺も含めた一体的な整備を実施していきます。

### ●生け垣作り補助金制度における助成対象の拡大などの取組は

**問** 生け垣作り補助金制度は令和4年度決算議会事業評価の対象となり、申請者数の低迷について問題提起され、基準の見直しや助成対象の拡大などを求めています。今後どのように取り組んでいきますか。

**答** 事業評価を受け、助成制度の利用者や市民等に、助成制度や自宅の緑についてのアンケート調査を実施したところ、シンボルツリーの設置など多様なニーズがあることが確認できたため、この調査結果を踏まえて、生け垣に加え新たな助成対象も検討していきたいと考えています。

### ●吉永配水池の整備による簡易水道組合の統合への影響及び統合に向けた動向等について

**問** 吉永配水池の整備により、簡易水道組合の統合の進捗を早められますか。また、簡易水道組合の統合に向けた動向についてどのように把握していますか。

**答** 吉永配水池の整備により、赤淵川以西の4つの簡易水道組合の統合が早まることを期待しています。また、簡易水道組合の統合に向けた動向として、水道料金を値上げして資金を確保しながら工事を進めている組合がある一方で、統合に向けて組合員の意思統一が図られていない組合も複数あるため、新年度から環境総務課に設置する簡易水道統合推進室と連携し取り組んでいきたいと考えています。

### ●簡易水道組合の公営化の可能性は

**問** 簡易水道組合の公営化についてどのように考えてますか。

**答** 法的には可能ではありますが、既に統合している組合との公平性や会計などの点に課題があるため、簡易水道組合の公営化については考えていません。

### ●下水道施設ウォーターPPP導入のメリットや地元企業への影響は

**問** 下水道施設ウォーターPPPの導入を進めるとのことですが、現行の包括的民間委託と比較してどのようなメリットがありますか。また、地元企業への影響はありますか。

**答** 現状の包括的民間委託では、令和9年度以降は管路改築に係る国費支援が打ち切られることになっておりますが、ウォーターPPPを導入することにより、引き続き国費支援を受けることができることと、市職員が現場を検査する機会も増加することから、職員の技術継承の面においてもメリットがあると考えています。また、地元企業の活用に重点を置くという現状の考え方に変更はなく、地元企業の雇用等への影響はないと考えています。

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

議会の構成

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

議会の構成

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

